



今月の題字

芳賀あゆみちゃん
(荒川小4年)

町のわだい

山田高生が町内で職場体験 働くことの大切さを実感

山田高校の1年生74人が12月12日から3日間、町内の事業所などでインターンシップ（職場体験学習）を行いました。生徒たちは飲食店や理美容室、官公庁など希望する職場で実際に仕事を手伝いながら、勤労の尊さや意義について学びました。このうち、山田消防署では職員の指導の下、小型ポンプを使用した消防操法の訓練が行われ、生徒たちは慣れないホースさばきに苦戦しながらも、命を守る仕事の大切さを肌で感じていました。



商工会で空き店舗活用事業 中心商店街の活性化を図る

山田町商工会などでは、12月12日から18日まで中心商店街空き店舗活用事業として川向町と中央町の空き店舗2軒を活用し、「街なか交流ステーション『みちくさ』」を開業しました。会場ではやまだシニアネットなどによる写真や絵などの作品展示のほか、日替わりで各種講習会や金融・税務相談などが開催され、期間中に500人が来場。最終日の18日には、理容組合山田支部による頭皮・毛髪相談やカットショー、エステの無料体験など最新理容技術のPRが行われていました。



織笠の 昆さん 3.2mの巨大なイカを捕獲 丸太かと思ってビックリ

12月16日、織笠漁港で巨大なイカが捕獲されました。同漁港でイカ釣りをしていた昆勝一郎さん（織笠・70）が発見、捕獲したもので、全長は3.2m、ダイオウイカ的一种とみられています。県水産技術センターによると、ダイオウイカは深海に生息しており、発見されることは非常に珍しいとのこと。昆さんは「最初は丸太が泳いでいるのかと思いました。良く見たらイカだと分かって本当にびっくりしました」と発見した当時の驚きを語ってくれました。

山田町国際 交 流 協 会 作文コンクール表彰式 入賞者に賞状と記念品贈る

NPO法人山田町国際交流協会（濱登長一郎理事長）の第1回国際理解・国際協力作文コンクールの表彰式が12月1日、町中央コミュニティセンターで行われ、山田町長賞の西村美佑紀さん（山田中3年）、同協会賞の山崎立子さん（山田高3年）、県国際交流協会賞の佐々木友美さん（同）に濱登理事長から賞状と記念品が贈られました。そのほか上位入賞に輝いた皆さんは次のとおりです。

◆優秀賞 ▷伊藤愛果▷沼崎野土香▷山本隆太▷佐々木真実▷大森陽介（いずれも山田高3年） 《敬称略》



住民協働 推進計画 策定委員会の初会合 素案について意見を交わす

12月4日、町内の自治会会員や一般公募の町民など15人で構成する住民協働推進計画策定委員会の初会合が役場特別会議室で開かれました。住民協働推進計画を策定するに当たり、広く意見を聞くため町が設置したもので、初会合には委員13人が出席しました。沼崎喜一町長による委嘱状の交付の後、正・副委員長の互選が行われ、委員長に濱登長一郎さんを選出。続いて事務局が提示した計画の素案について意見が交わされました。委員会は今後、数回開かれ、本年度中に計画が策定される予定です。

名物の開発を目指し試食会 町民160人が候補料理に舌鼓

山田の魅力発信実行委員会では12月17日、名物料理試食会を開催しました。これは、山田の豊富な海の幸、山の幸を生かした名物料理を開発しようと、三陸山田んこ盛りフェスタ2006の一環として行われたもので、中央町の特設会場には、町民など160人が来場。「鮭寿し」や「三陸鮭汁」「鮭のチャンチャ焼き」などの無料試食が行われ、訪れた人々は地元食材を使った名物候補の料理に舌鼓を打ちながら、アンケート用紙に感想を記入していました。同会では今後も試食会などを開催しながら研究を重ね、来年春を目標に完成を目指しています。

